



平成19年2月21日

倉敷市長 古市健三様

倉敷市市民企画提案事業審議会

会長

鈴木江三子

平成19年度「ひと、輝くまち 倉敷。」市民企画提案事業について (答申)

本審議会は、平成19年1月23日付け市推第443号をもって諮問のありました平成19年度「ひと、輝くまち 倉敷。」市民企画提案事業の審査について、慎重に審議をすすめ、その結論を得ましたので、別添審査結果のとおり答申いたします。





平成19年度「ひと、輝くまち 倉敷。」  
市民企画提案事業について

答 申

平成19年2月21日

倉敷市市民企画提案事業審議会

平成19年度  
「ひと、輝くまち 倉敷。」  
市民企画提案事業審査結果

倉敷市市民企画提案事業審議会

平成19年度「ひと、輝くまち 倉敷。」  
市民企画提案事業について(答申)目次

	頁
市民企画提案事業審議結果	1
委員名簿	6
参考資料	
(1) 諮問書	7
(2) 倉敷市市民企画提案事業審議会条例	8
(3) 倉敷市市民企画提案事業実施要綱	10

倉敷市市民企画提案事業審議会は、倉敷市が実施した平成19年度「ひと、輝くまち 倉敷。」市民企画提案事業募集において、応募のあった提案団体から事業提案書提出後に公開プレゼンテーション、更に最終審査を行う機会を与えられました。

この事業を審査するにあたり、倉敷市に新たな「公共の担い手」を創出し、協働による行政運営の機運を高めるために、提案事業が果たす役割や公益性、中立性、協働性などの観点から審議を行ってきました。

審議会では、当初の事業提案書の提案内容は、事業内容とその事業性を示しているものの、記述が不十分である提案や精査の必要がある提案があると判断しました。

このことから、審議会では、提案者に対し公開の席でのプレゼンテーションで疑問点について、回答を求めながら、当初の事業提案書だけでは判断しきれない提案の可能性と提案団体の姿勢の検証に努めてきました。

最終的に、これらの検証結果と公開プレゼンテーション後に提案団体が事業担当課及び関係課と調整、意見交換をした内容を吟味し、公益性、計画性、協働性や独自性・将来性などを判断する総合評価方式で評価・選定を行いました。

結果として、採択基準点を越えた提案事業が14件、採択基準点に達しなかった提案事業が2件、公開プレゼンテーション後に取り下げられた提案事業が2件となりました。

提案事業についての講評については、次の「審査結果及び講評」に併記させて頂きました。

最後になりますが、倉敷市市民企画提案事業の公募に応じて頂き、更には審査に係る質問等に対しても丁寧に対応して下さいました各提案者の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

倉敷市市民企画提案事業審議会

会長 鈴木 江三子

審査結果及び講評

(1) 審査にあたっての考え方

審議会では、「ひと、輝くまち 倉敷。」市民企画提案事業実施要綱及び平成19年度「ひと、輝くまち 倉敷。」市民企画提案事業応募の手引きにおいてあらかじめ定めた審査基準の「審査項目及び配点」に従って、提案団体から応募のあった事業について審査をしました。

また、提案事業の審査にあたっては、事前に審議会による公開プレゼンテーションを開催し、提案団体からの事業提案説明及び審議会委員による質疑を行いました。

なお、事業採択基準得点は50点以上とし、点数については、提案事業毎に各委員100点を持ち点とし、その合計点から最高点及び最低点を差し引いた得点の平均点を評価点としました。

< 審査項目及び配点 >

審査項目		審査のポイント		配点
基準 I	公益性	A	不特定多数のものの利益の増進に寄与するなど公益性の高い事業である。	はい いいえ
	中立性	B	市が補助することについて、疑義が生じる要素がない。	はい いいえ
	協働性	C	市民団体と行政が協働すべき領域で、市民団体が取り組む方が効果があがる事業である。	はい いいえ
	全項目「はい」か			はい いいえ
基準 II	① 目的 (公益性) (緊急性) (重要性)	1	不特定多数のものの利益の増進に寄与するなど公益性の高い事業である。	20点
		2	市民団体と行政が協働すべき領域に属する提案(課題)内容である。	
		3	課題の緊急性や重要性が具体的に示されている。	
		4	その目的や緊急性・重要性は、事実に基づき確認している。	
		5	その課題になぜ取り組まなければいけないのかというニーズに共感できる。	
	② 事業内容 (計画性)	6	市が補助することについて、疑義が生じる要素がない。	20点
		7	目的に沿った事業計画がつけられている。	
		8	実施にあたり、十分な準備期間・手段が取られている。	
		9	実施時期は適当である。	
		10	より多くの人に参加できるような工夫がある。	
		11	地域住民の理解を得られ、市民満足度が高まる内容である。	
		12	提案団体の特性(ノウハウ)を活かした内容である。	
	③ 費用負担	13	収支計画は適切である。	10点
		14	申請金額は適切である。	
		15	自己資金の調達は担保されている。	
		16	予算配分は適切である。	
	④ 人材配置	17	計画を遂行する技能・能力(人的資源)がある。	10点
		18	ボランティアスタッフの力を生かす組織となっている。	
	⑤ 協働性	19	市民団体と行政が協働すべき領域で、市民団体が取り組む方が効果があがる事業である。	20点
		20	提案団体と市の役割分担が明確かつ妥当なものである。	
		21	市(行政)に求めている役割(協働内容)は具体的かつ適切である。	
	⑥ (独自性) (将来性)	22	先進的・先駆的な事業内容である。	20点
		23	発展・普及性がある事業内容である。	
点数合計(100点満点)				

(2) 提案事業の審査結果

審議会において厳正な審査を行った結果、次のとおり決定しました。

< 採択基準点数に達した提案事業（市民提案部門） >

提案事業名	提案団体名
ホテルの棲息できる自然環境の復元	倉敷ホテル愛好会
地域の歴史・文化の保存、継承	中庄の歴史を語り継ぐ会
「テーブルまび」に向けて	NPO法人岡山マインド「こころ」
川田甕江資料解読整備事業	川田甕江資料を読む会
鷺羽山の景観を考え環境を保護する事業	鷺羽山の景観を考える会
高齢者軽スポーツリーダー養成講座	NPO法人スポーツライフ「91天城
鬼復活活動を通じての 子どもの健全な育成と地域活性支援事業	堀南青年の会
男女共同参画社会の実現をめざす意識の向上と啓発 事業	イーブくらしきネットワーク
障害児者と高齢者に対して地域活動支援事業	NPO法人いちご一会
サンクトペルテン姉妹都市提携50周年記念 オーストリア・くらしき現代美術交流展	倉敷文化環境を考える会
IT-ボランティア育成講習会の実施	ボランティアグループ IT-ふたば会
「みずしま夢koi・koi!」の踊りで、地域交流ふれあい づくり事業	水島おかみさん会
倉敷の伝統舞踊を通じて地域の活性化を図る事業	NPO法人倉敷栄美寿会

< 採択基準点数に達した提案事業（行政課題解決部門） >

倉敷川の水辺に親しむ環境教育・水辺の再生事業	蔵おこし湧々
------------------------	--------

※事業採択基準得点は、100点満点で50点を超える得点

### (3) 審査講評

今回は18件の市民企画提案事業があり、そのうち採択に至ったのは14件であり、不採択が2件、提案取下げが2件となりました。全体の提案事業名や事業目的を通じて、市民が地域活性化に繋がる事業を実施したいという市民の熱意が伝わるものであったと考えられました。

これは、本事業の目的のひとつである市民と行政が一体化して、協働で地域の活性化を推進することの機運が高まっているものと考えられます。

採択された14件は公益性、中立性、協働性に優れ、特にその目的が現実社会の中で具現化できる方法が提示されており、予算配分、人的資源及び物的資源や行政との連携も目的を遂行するために一貫性のあるものでした。事実、提出された事業計画は、事業名、事業目的、年間計画、予算配分等、事業の実施がみえるものでありました。また、単年度の事業計画ではあるが、次年度以降も事業として継続する可能性が伺えるものでもありました。

その一方で、不採択となった2件に関しては、提案事業名や事業目的は時代にあったものであり、現在社会の中で特に注目されている課題でした。しかし、公益性、中立性、協働性に不十分な点があり、目的に沿った年間の事業計画がみえず、また、予算配分も事業計画に合致したものであったとは言いがたいものでした。さらに、現実の状況を踏まえて勘案すると、現実的に具現化するものであるかどうかが問われたものでした。

### (4) その他の総評

市民企画提案事業は平成17年度から実施され、今回で3年目を迎えます。初年度の最終報告会では、実施された事業内容に関してイベント的で公益性、中立性、協働性が乏しく、事業主体者が中心の事業にみえるという批評もありました。それらのコメントを踏まえて、平成18年度の採択分に関しては中間報告会を設け、前年度の課題改善に努めてきました。

特に市民が本事業計画案を提出しやすいように、諸資料の形式を工夫し、書きやすい書類になるよう努めてきました。

その結果、今回の提出された市民企画提案事業は市民の意識の向上だけでなく、計画立案に関する知識の蓄積も伺えるものでした。なかでも、これまで長く活動実績のある市民団体が市民企画提案事業に応募しており、行政側が知ることの無かった市民の生活に密着した地域活動が垣間見えて、行政側にとっても学ぶところが多かったことと思います。総合的にみて、市民の底力を感じさせる事業の提案が殆どであり、さらに市民と行政の協働事業としてより発展していくことを期待します。

倉敷市市民企画提案事業審議会委員名簿（50音順・敬称略）

	氏 名	役 職 名
	あきやま ただし 秋山 正	倉敷市議会 議長
	あさはら まゆみ 浅原 真弓	玉島おかみさん会 代表
	あだち れいと 安達 励人	倉敷市立短期大学 助教授
	かとう きよつぐ 加藤 清次	倉敷商工会議所 総務部長
副会長	しらかし ひさし 白樫 久	ノートルダム清心女子大学 教授
会 長	すずい えみこ 鈴井 江三子	川崎医療福祉大学 教授
	つちや ひとみ 土屋 瞳	男女共同参画フォーラム2000まび 代表
	みちひろ りさぶろう 道広 利三郎	公募委員
	もりや みゆき 守屋 美雪	公募委員
	もりわけ としあき 森分 敏明	倉敷市議会 総務委員会委員長
	やまもと てつしん 山本 哲之進	岡山県備中県民局協働推進室